

# お茶会だより

4月号

矢島保育園 R6.4.18(木)

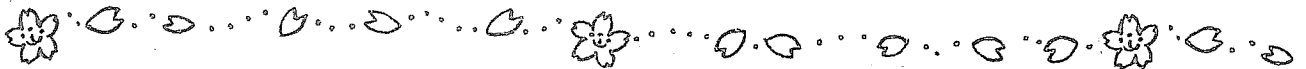
ぞう組になつて楽しみにしていたことの一つにお茶会があります。今度は「僕たち、私たちの番」とお茶会を心待ちにしていた子ども達も期待と緊張感、はいで参加した第一回目となりました。

==== お茶の先生

茶道裏千家淡交会 準教授

**植田 幸子 先生 (茶名 ~ 宗幸 ~)**

==== 一年間 子ども達を指導して下さいます。====



お床拜見で植田先生のお話を聞き静寂の中でお点前拜見。

植田先生の美しい点前は普段見ることのない動作がたくありました。その動作一つ一つに見入っている表情からは「次は何をするんだろう」と子ども達の声が聞こえてくるようでした。

お稽古では立ち振る舞いや作法を学び、水屋も体験しました。

お菓子やお茶をいただいたり、お茶を点てたりする姿からは「や、てみたい」と意欲が強く伝わってきました。初めてのことも多く、中には不安そうにする子もいましたが植田先生から「少しづつ覚えて頑張っていきましょうね」とお話があり、来月からのお稽古に期待を膨らませていました。背すじを伸ばすこと、お話をしている人の顔を見て話を聞くことなど「お茶会だけでなく普段の生活の中でも意識して正していけるよう見守ってほしいです。

これから一年間、ほどよい緊張感の中で茶道を通して

「感謝の心、思いやりの心、我慢する心」を育んでいきたいと思ひます。

## 【今月の床の間】

《掛け軸》「にこにこ にっこり ごあいさつ」

どんな人も挨拶をされると、声を掛けられた人は勿論、声を掛けた人も周りの人も嬉しくなるもの。これからのお茶のお稽古も、「笑顔が大切」との思いが込められた掛け軸です。

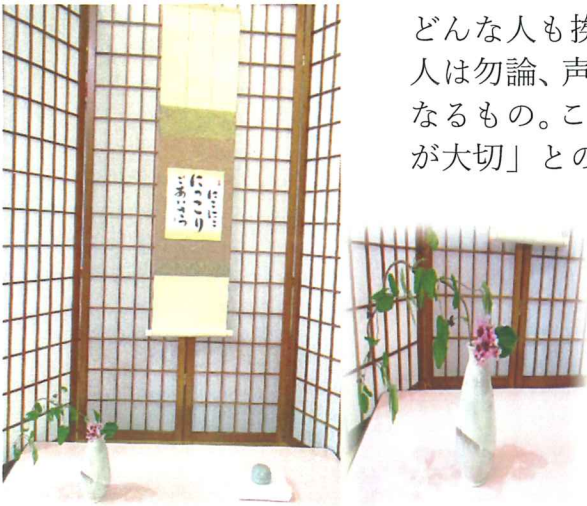
《お菓子》

「バウムクーヘン」



《香合》「さくら」

植田先生の手作りの香合です



《茶花》「アケビ・ヒマラヤユキノシタ」

## 【お茶会の様子】



初めて見る植田先生のお点前。美しい動き一つ一つに見入っていました。

お茶会を終えて子ども達とお客様に感想を聞きました。

皆の心のドキドキの音が聞こえてくるようでした



お茶を点てるのが楽しかったです！

美味しく飲んでくれるかな



児童民生委員  
新田実生子さん



水屋の子ども達が自分で点てたお茶を運んできた場面です。

憧れのお茶会に緊張もありましたが様々なことに挑戦できる喜び、楽しさを感じながら参加していました。また植田先生とお会いできるのが楽しみですね。